

令和3年度

鳴門市第一小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 学校と家庭が連携し、課題に対して粘り強く取り組む児童の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員

校長



◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

校内研修や研究授業、教員からの報告等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対して、真面目に取り組む児童が多い。 ●語彙数が少なく、正確に文章を読み書きしたり、話を聞いたりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能が確実に身につく、それらを活用することができる。 ・語彙数を増やし、正確に文章を読み書きしたり、話を聞いたりすることができる。	・小テストや宿題などで既習内容を繰り返し学習させ、理解度を把握する。 ・新聞や図書を活用し、あらすじをまとめたり要約したりする書く活動を充実させる。 ・既習漢字を正しく使わせ、言葉の言い換えや比較を行う。	・読書カードにあらすじや感想を書いて、本を紹介するなど、読書活動を充実させる。 ・前学年での内容も小テストやプリントで復習させる。	・既習内容の繰り返し学習には、全学年が取り組み、基礎・基本の定着に繋がったが、学力の二極化が見られるところもある。 ・音読や辞書の活用などで語彙を増やせるようにしたが、読書活動や要約などは充実させられなかった。	新聞や図書を活用した学習を工夫して語彙数を増やし、正確に文章を読み書きできるようにする。読書活動を充実させる取り組みを行う。また、個に応じた学習ができるように、プリントやワークシートなどの内容を精査する。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを積極的に発言したり、友達の発言に自分の考えを繋げたりできる。 ●一部の児童で、話し合いが進んでしまうことに課題がある。 ●これまでの学習を生かして、自分の考えを述べることに課題がある。	・これまでの学習を手がかりにしながら、自分の考えを書くことができる。 ・進んで自分の考えや根拠を述べたり、友達の発言と比較したりすることによって、自分の思いや考えを広げ深めることができる。	・一人で考える時間を確保し、ペア、グループ、全体での話し合いなど適切な方法で対話の場面を取り入れる。 ・根拠を述べたり多様な意見を引き出したりできるように発問を工夫する。 ・電子黒板やタブレット端末を活用して、話し合いの目的や流れを視覚化したり、児童から出た多様な意見を比較や関連付けできるように、全体に周知したりする。	・感染症対策をとり、思考ツールやタブレット端末を利用して、自分の考えを整理したり、ペア友達の考えと比較できたりする活動を取り入れる。	・コロナ禍で話し合い活動が十分にできなかった時もあったが、できる範囲で取り入れ、対話的学習をした。 ・発問の工夫を行い、自分の意見を書く(自力解決の)時間を十分確保することで、自分の意見を積極的に発言したり、根拠をもって発言したりできる児童が増えた。 ・ほとんどの学級で、電子黒板やタブレット端末を活用し、視覚的に理解を深められるようにした。	タブレット端末を適宜活用し、自分の意見をまとめ、発表する活動を行う。友達の考えと比較・関連付けながら聞き、自分の考えを深められるような発問や指導を行う。教科・領域ごとに、どのような場面でタブレット端末を使うと学習活動の充実を図ることができるのか精査する。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対して、友達と協力しながら前向きに学習に取り組める児童が増えた。 ●自ら課題を設定し、粘り強く取り組むことに課題がある。 ●家庭学習の習慣がなかなか身につかない児童もいる。	・自ら課題を設定し、主体的に学習に取り組むことができる。 ・最後まで粘り強く課題に取り組むことができる。 ・宿題や自主学習に取り組む、家庭学習の習慣が身についている。	・児童主体でめあてを設定したり、優れたノートを掲示したりすることで、学習意欲を高める。 ・課題設定→見直し→振り返りを意識した授業を行う。 ・学年便り等で継続的に家庭学習の習慣化を呼びかける。	・授業の最後で振り返りを行い、めあてがどの程度達成できたか確認できるようにする。	・課題設定→見直しを意識した授業は行えたが、授業の終末に意識を向け、丁寧な振り返りを行うことはできなかった。 ・家庭学習の習慣を呼びかけることはできたが、自主学習は個人差が大きかった。	振り返りの方法(文章記述・話し合い・記号による評価など)を工夫したり、書き方を具体的に提示したりすることで、充実感や達成感、自己肯定感が味わえる振り返りをする。

令和3年度 学力向上ロードマップ

